

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 愛広会	代表者	池田 弘	法人・事業所の特徴	ご利用者も職員も明るく活気のある事業所です。在宅生活を送る事ができる方々が、住みなれた地域でいつまでも生活を続けられるよう、ご家族と一緒に考えていく事を念頭に置き、サポートできればと考えています。個人性を尊重し笑顔が多く、心が和む寄り添うケアを目指しています。
事業所名	リビングサポートおやま	管理者	長谷川 綾子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価を行う事で、取り組みの振り返りを行い出来ている点や出来ていない点を明確にして改善するように努力する。	・自己評価を定期的に行う事で、明確化され内容を理解し日々の業務に活かせるように努力した。 ・「時間に追われて出来なかった」ではなく関わる時間を作る様に時間を有効活用する様に努力しなくてはいけないと感じた。	コロナ感染予防の為、開催できず。	・自己評価と事業所評価を通し、支援の方向性への意識の向上を高める。職員全体で目標に向い統一した取り組みを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き整理整頓や清潔を意識し、ご利用者様や来客者にとって居心地の良い環境に努める。	日々の整理整頓は意識している気づいたらその都度掃除もしている。明るい日も差すホール内である為快適に過ごされている。	コロナ感染予防の為、開催できず。	・事業所特有の温かみのある、家庭的な雰囲気を活かし清潔で過ごしやすい環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・感染症の状況にもよるが、感染対策を徹底し地域行事への参加や、事業所内での行事に参加をして頂ける様に準備をしていきたい。	・事業所行事には、少人数ではあるが、ご家族の参加があった。 ・未だ、外部での行事等には参加はしていないが参加できる環境になれば参加したい。	コロナ感染予防の為、開催できず。	・状況にもよるが、地域との交流が再開できる様に準備をしていく。地域の方々とも連携を図り、地域交流をより良い物にして行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・各ご利用者様がその地域に住んでいると言う事を意識し、各地域と連携を少しでも多く取れる様にして行く。またご利用者様以外の地域の方々にも関り、相談しやすい事業所作りをしていく。	・地域の茶の間に参加している方もいるが、他多くの方は自ら集まりに参加できてはいない。 ・コロナ禍もあり、職員が積極的に関わる事が出来なかったが、地域の方と会えば挨拶は出来ている。	コロナ感染予防の為、開催できず。	・地域との関りを絶やさず交流を持つ事を意識し、感染状況を把握しつつ以前の様な関係性が保てるようにする。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・開催できない時は引き続き書面での報告になるが、よりよい事業所作りの為にも、意見交換し、必要に応じて改善していく。今年も会議が開催できなかった。</p>	<p>・今年度もコロナ感染防止の為開催する事がむずかしかった。 ・定期的に書面での報告は出来ていた。</p>	<p>コロナ感染予防の為、開催できず。</p>	<p>・定期的に対面での会議を開催し、より良い事業所づくりの為にも意見交換し改善する。地域の取組みにも出来るだけ参加できる様にしていきたい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・BCP（事業継続計画）を各自読み込み流れの把握。新しい職員が入ったときは勉強会をする。</p>	<p>事業継続計画書の配布と説明を行った。 定期的な訓練や勉強会を行い防災意識を高めてきた。</p>	<p>・コロナ感染予防の為、開催できず。</p>	<p>・BCP（事業継続計画）を基に運営推進会議でも話し合い、更に地域と協力体制を築いていきたい。コロナ感染の状況にもよるが、事業所の防災訓練にも地域の方の参加して頂くようにアプローチしていきたい。</p>